



## 2021年 年頭のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。



まず、私ども運輸総合研究所の活動について、常日頃よりご支援、ご協力をいただいております皆様に、改めて篤く御礼申し上げます。

当研究所は、1968年に運輸交通及び観光に関するシンクタンクとして設立されて以来今日まで、政策提言や研究・調査、各種セミナーの開催等に精力的に取り組んでまいりましたが、今や我が国の経済・社会は大きな構造変化の渦中にあり、国際情勢もまた、パワーダイナミクスの変化とともに著しく不確実性を増しています。また、昨年初からの新型コロナウイルスのパンデミックは、感染者数が1億人に迫る状況で未だ収束の見通しが立たず、世界の政治・経済・社会に計り知れない影響を及ぼしつつあります。我が国もまた、運輸・観光産業をはじめ、経済・社会は甚大な影響を受けています。

このような中、当研究所としては、広い視野に立って現実を直視し、新たなテクノロジーの発展や国内外からの期待・要請を踏まえ、ポストコロナを見据えつつ、現代社会の諸課題の解決に貢献すべく、果敢に、かつ着実に、「世の中の役に立つ」活動を目指して取り組んでまいります。

現在、当研究所では、ASEAN・インド地域事務所（略称：AIRO）をタイのバンコクに本年早期に開設すべく、準備を進めております。今後、同事務所と30周年を迎える米国のワシントン国際問題研究所の2つの海外拠点と東京の本部とが一体となって、北米からASEAN・インドまでを視野に入れた広域的かつ戦略的な活動を行うこととしております。

当研究所の役職員一同、明るい新年となるよう、心を新たに、幅広い各界の皆様との緊密な連携のもと、さらに専心努力する所存でございます。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般財団法人 運輸総合研究所  
会 長 宿利 正史